

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：中国地方整備局 都市・住宅整備課
 担当課長名：石崎 隆弘

事業名	こんこうふなほくらしき 金光船穂倉敷線		事業区分	街路	事業主体	岡山県
起終点	自：岡山県倉敷市西阿知町西原 至：岡山県倉敷市水江			延長	1.8 km	
事業概要	JR山陽本線以北の地区における県南広域都市計画区域の東西2極（岡山市・倉敷市）都市間を連携する主要幹線街路であり、主要地方道倉敷笠岡線のバリエーションとして整備を行う4車線道路である。					
事業の目的、必要性	山陽本線以北の地区における東西方向幹線の不足により、混雑を極める周辺幹線道路の渋滞対策、また混雑を回避するため街区内の生活道路に進入する通過交通により悪化した生活環境の改善を図るものである。					
全体事業費	70億円		計画交通量	21,000台/日		
費用便益分析結果	B/C 17.4	総費用 58億円 （事業費：57億円 維持管理費：1億円）	総便益 1,007億円 （走行時間短縮便益：1,009億円 走行費用減少便益：2億円 交通事故減少便益：-4億円）	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（水島港へのアクセス向上が見込まれる） ・都市の再生（区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり） ・国土地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難箇所が改善される） 他19項目に該当（定量的評価項目を含む）					
関係する地方公共団体等の意見	地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、倉敷市をはじめとする関係2市3町の首長で構成される主要地方道倉敷笠岡線整備促進期成会より早期整備の要望（平成14年9月2日）を受けている。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。